

あわいんべ あらたえちようしん 鳴門大麻山と阿波忌部氏による 鹿服調進

講演会

★令和元年(2019年)に美馬市木屋平の三木家(阿波忌部直系)で栽培された麻は、古来からの慣習と伝統に則って麻の反物に織られ、11月14、15日に東京の皇居東御苑に建てられた大嘗宮の悠紀殿主基殿に神衣として奉られ、日本中の注目を集めました。阿波忌部氏とは何者なのか。また、大嘗祭や鹿服調進と鳴門との関わりとは何か。



*日時—令和2年12月26日(土曜日) 10:00~11:15 記念講演会
11:15~11:45 鹿服写真展の解説

*場所—キョーエイ鳴門駅前店 4F展示スペース 鳴門市撫養町小桑島前浜 23

*主催—日本の原点を見詰め未来を創る 一般社団法人 忌部文化研究所

*申込—林田(090-1008-4054)

※コロナ対策のため、上限40名の人数制限をします。講演会希望者は、予め上記まで
申込んでください。

講師: 忌部文化研究会 会長 林 博章(はやし ひろあき)



・昭和40年(1965)徳島市生。青山学院大学法学部卒。
2005年鳴門教育大学大学院修士課程修了(地理学)。古代史研究家。主著に「日本各地を開拓した阿波忌部の足跡～安房国編～」(2006)、「日本の建国と阿波忌部」(2007)、「倭国創生と阿波忌部」(2010)、「オオゲツヒメと倭国創生」(2012)、「徳島剣山系の世界的農業文化遺産」(2015)。「天皇即位の大嘗祭—徳島阿波忌部の歴史考」(2018)。
2011年に鳴門海峡の世界遺産化、2012年に剣山系の世界

農業遺産化を提言・原案作成。市民・行政・産業界と連携し徳島や日本創生のための活動を展開。